

ろうれん

ならいほ

第14・15号
2017年1月
(平成29年)

榎葉町老人クラブ連合会

中央台
仮設校舎
にて

11/29(火)

南北小学校 低学年児童との昔あそび交流



今年も昔あそびの先生として榎葉南北小学校1・2年生へ、お手玉・あやとり・ビー玉・こままわしなどの8種類の昔の遊具の遊び方を教えながら交流しました。

震災当時、1～2歳だった子供たちからは、昔の生活や榎葉の様子などについての質問タイムもあり、感慨深い交流になりました。

年頭に

連合会長 新妻信一



平成23年3月の震災から数えて6回目の新年を迎えましたが、今年はいつから、どこで、どのような生活をするのか決断し、行動する年になると思います。

すでに行動している方も多いと思いますが、いろいろな事情で迷っている方も決断しなければならない年となることでしょう。

町老人クラブ連合会では、これまでの会員意向調査結果等をふまえ、帰町した高齢者が生きがいを持ち、楽しい活動をするために会員勧誘や組織づくり活動プログラムの作成等に取り組む予定です。

しかしながら、震災前からの単位クラブのいくつかは解散したり、活動を休止しており、これからの老人クラブ活動は私たち高齢者の力だけでは立ち行かないところまで来ており、若い方のご支援やご協力が不可欠な状況にあります。

どうぞ老人クラブのそのような状況をご理解いただき、老人クラブ活動推進に多くの町民の皆さんのお力をお貸し下さいますようお願い申し上げます、年頭のあいさつといたします。

今年度も頑張りました!! 民舞教室

平成24年1月から毎月2回の活動を続けて来た民舞教室の皆さん。
今年も大舞台で息の合った踊りを披露し、たくさんの拍手をいただきました。



いわきシルバーフェア2016 (11/10)



福島県高齢者芸能発表会 (11/16)

活動スポット

7/12(火) 女性部勉強会【ミュージック・ケア】

女性会員のほか、男性会員・会員以外の方も交え、音楽療法士 阿部 裕之先生から、座ってできる軽体操や、音楽に合わせて心と体を動かしてリラックスする方法などを学びました。

頭の体操で四苦八苦する場面もありましたが、歌あり、踊りありのあっという間の楽しい勉強会に参加者一同、少し若返ったような気がしました。



10/19(水) 美化活動

老人クラブの一大事業として毎年 9 月 20 日に実施している「全県一斉社会奉仕の日」の活動の一環として“やまゆり荘”の庭の花だんや庭木の除草・せん定などを行いました。台風の影響で、当初の予定から1月以上も遅くなりましたが、檜葉に戻った会員といわきに避難中の会員が協力して短時間に庭内がこざっぱりとしました。



今年度、檜葉町老人クラブ連合会では、(公財) 福島県老人クラブ連合会の「屋推進事業」の2つ事業に取り組んでいます。

1年間に2つの県の大きな事業への取り組みに「欲張りすぎだろう」、民生児童委員さんの参加協力や生活支援相談員の事業補助などにより、

ニュースポーツ健康づくり事業

6/24・7/15 カーリンコン・ラダーゲッター講習会

「誰でもできて、ゲーム感覚で楽しめる」2つのニュースポーツ。
子供のころ楽しんだ輪投げや、石を使って遊んだ陣取りの要領で楽しめます。



11/25 第1回 カーリンコン大会

檜葉南小学校体育館で震災後初めてのスポーツ系の大会を開催しました。この日が競技初挑戦の会員、一般の方など総勢24名が6チームにわかれ、最後まで気がぬけないゲーム展開に元気な歓声が響きました。

成績 1位 やまゆり
2位 ゆず
3位 杉
4位 うぐいす
5位 木戸ダム
6位 鮭



事業実施指定を受けて「ニュースポーツで健康づくり事業」と「地域の寺子

「2つもできるのか？」と不安の声もありましたが、会員単独ではなく歓声や笑顔いっぱいの楽しい活動の回を重ねています。

地域の寺子屋推進事業



8/19

いわき新舞子ハイツ体育館にて夏休みで児童館を利用している檜葉南北小学生と会員との混合チームによるカーリンコンとラダーゲッターの交流会を行いました。

10/13 地域の寺子屋セミナー

「地域の寺子屋事業」を、より効果的に進めるための勉強会を行いました。

NPO法人子育て支援グループこころ 理事の佐藤久美子さんが「子どもとの関わり方について」と題し、子どもとのコミュニケーションのとり方についてお話下さいました。



続いて世界大会に数多く出場している“こまのたけちゃん”こと こまの伝道師武田 勉さんが「昔あそびの先生になるため」と題し、実演と実技の指導をして下さいました。

この日は、檜葉町民生児童委員協議会から13名の委員さんが参加下さり、ともに今どきの子育て事情や現状について学びました。

※表紙の小学生との昔あそび交流も、この事業の一環です。

その他の活動

9/26 平成28年度若手委員意見交換交流会(県事業)

県内の老人クラブ活動をけん引する若手会員の活動の発表やグループごとの情報意見交換に女性副部長他2名が参加しました。

10/5 単位会長・女性部委員合同会議と勉強会

平成29年3月までの、下半期の事業活動について話し合いました。

また原爆被爆3世で現在、川内村に住んでいる長崎大学原爆後障害医療研究所の折田真紀子先生から、放射線の健康への影響について、実体験に基づいたお話をうかがいました。

“語句楽” 熟語 クイズ

正解者の中から
抽選で5名の方に
記念品を
さしあげます

【問題】中央の空いたマスに入る漢字を考えましょう。上下左右の漢字とは二字熟語になり、マスの漢字を続けると熟語になります。

【ヒント】神様にお供えしてからいただくものです。

【応募先と締め切り】はがきに①答え②住所③氏名を明記の上、〒979-0513 檜葉町大字山田岡字大堤入 31-1 檜葉老連事務局内「熟語クイズ係」まで。

2月3日(金)必着です。

手 煎
眼 □ 石 桜 □ 肌
池 草

(出題：元輝新報)

前号の答え：「風」「鈴」で風鈴(ふうりん)

編集後記

また新しい年が始まり、ことのほか暖かい日が続いています。

みなさんはお元気で過ごしておられるだろうか…と思いつつ「ろうれんならは」のお届けに少し間が空いてしまったことをお詫びいたします。

ひとつ歳を重ねるごとに、体力や気力の低下を実感することが多くなるのは誰しものこと。そして個人差があるのはあたりまえと頑張りすぎず、自分の今をたしかめながら、焦らず、のんびり行きましょう。

誰もが健やかに心おだやかな一年でありますように…。

(編集委員一同)